



第16—62号

2016年12月2日

小田急線・登戸駅に改札口を新設します

川崎市との包括連携協定に基づく一層の取り組みに向けて

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：山木 利満）は、小田急小田原線登戸駅に改札口を新設するため、2017年1月から工事に着手します。

当社では、2017年度に完成する複々線化事業による輸送力増強効果をさらに高めるため、登戸駅構内4線化の工事を進めております。この整備にあわせ、駅の混雑緩和を目的に2018年3月の運用開始を目指し改札口を新設いたします。新設する改札口は登戸駅構内の新宿方面に設置し、JR南武線との乗換え経路としてご利用いただけるよう、川崎市と接続先に関する協議を進めております。なお、降車専用として運用開始する予定です。

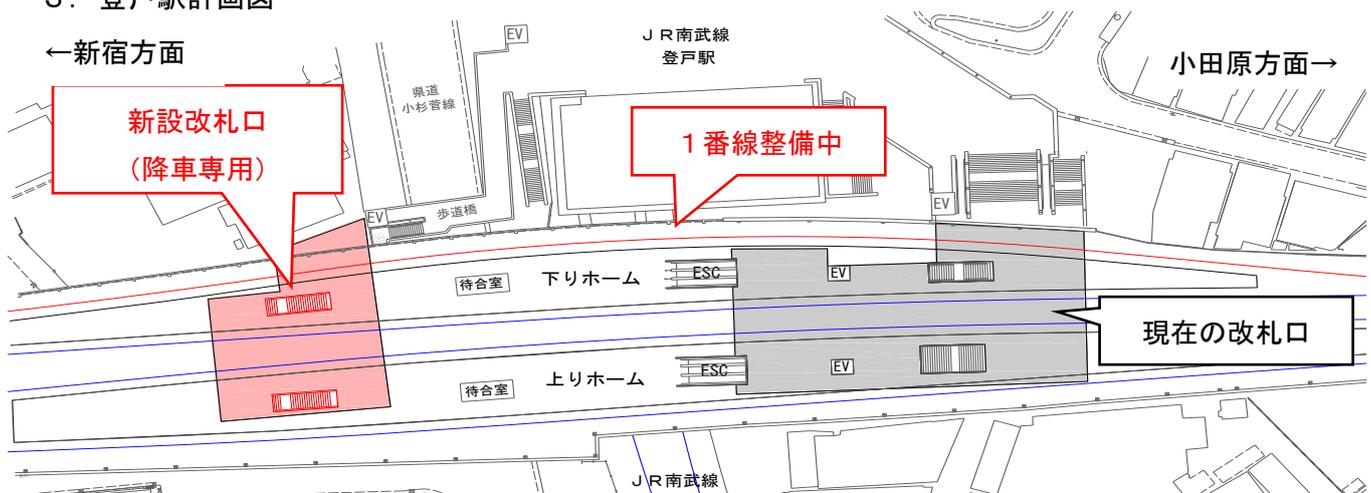
当社では、2016年11月15日（火）に川崎市と「小田急沿線まちづくり」に関する包括連携協定を締結しました。今後、この協定に基づき、駅を中心としたまちづくりや公共交通機能の強化等に向けた取り組みを連携して進めてまいります。

登戸駅の改札口新設の概要は下記のとおりです。

記

1. 所在地 神奈川県川崎市多摩区登戸2417
2. 工期 2017年 1月 着工
2018年 3月 使用開始（予定）

3. 登戸駅計画図



以上